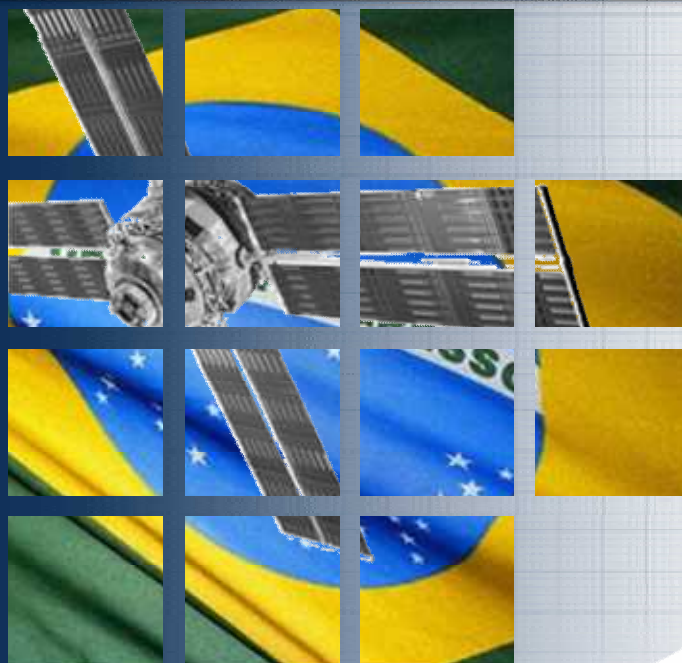


# ブラジルにおける 車両盗難防止システム 搭載義務化の影響



## 盗難車両追跡システムの装備義務化によって、今後、盗難状況はどう変化するのか、そして、テレマティクスサービスの行方は？

ブラジル政府は、すべての新車に盗難車両追跡システムとイモビライザの装備を義務化する法案を発表しました。当初は2009年の施行を目指していましたが、結局猶予措置が取られ、2009年8月から6カ月間の試行期間が設けられています。実際の追跡システムの装備義務化は2010年2月からスタートする予定です。

しかし、ここにきて新たに法的な問題が浮上し、導入時期の延期や法定要件の変更の可能性が出てきています。

このように事態は刻々と変化しているため、SBDでは新たに最新情報を盛り込んだレポートを発行しました。装備が義務付けられるOEM追跡システムの技術要件や認定プロセスの詳細に加えて、盗難車両追跡システムの今後の市場動向や、装備義務化によって増加が期待されるテレマティクスの新たなサービス展開の可能性について分析しています。



本書では以下のような内容を取り上げています。

- 昨今の訴訟による影響、および2010年の施行日延期の可能性
- 盗難車両追跡システムの技術要件、認定プロセス、認定機関
- イモビライザの技術要件の不備により生じ得るリスク
- テレマティクスの将来の展望、追跡システムに続く新たな付加価値サービス
- ブラジル市場で活躍するメーカーやサービスプロバイダなどの競合企業の動向分析

詳細に関するお問い合わせは、下記にて承っております。

担当: 杉木 昭郎

Eメール: [asugiki@sbdjapan.co.jp](mailto:asugiki@sbdjapan.co.jp)

Tel : 052-253-6202



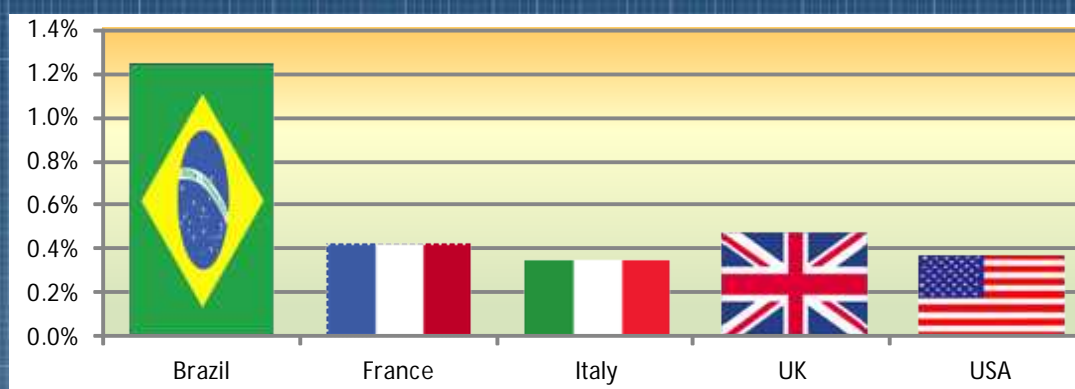
## »» Theft in Brazil calls for legal mandates...

ブラジル政府は、2010年2月以降に販売されるすべての新車について、防犯機能を備えたテレマティクスシステムの装備義務化を決定しています。しかし、ここにきて法的な諸問題に直面しており、係争中の訴訟の結果によっては、法案の根本的な見直しを迫られる可能性があります。すでに発表されている技術要件や認定要件についても、2009年4月に下された判決に従い、すでに修正が行なわれています。

ブラジルでこの法案が導入される背景には、車両盗難の件数が非常に多いという現状があります。ブラジルでは毎年35万台の車両が盗難被害に遭っており、その多くで暴力的な手口が使われています。

本書では、ブラジルで進められているOEM防犯システム導入の最新状況について、以下の項目を中心に説明しています。

### Comparison of vehicle theft rates by market in 2008



**技術要件** - 車両に搭載するシステムには、車両の不正使用を防止するためのイモビライザのほかに、ユーザーが任意で利用できるよう車両追跡システムとリモートイモビライザの装備が義務付けられています。また、車両と追跡センター間の通信には、必ずオープンプロトコル「ACP 245」を使用するよう規定されています。本書では、ブラジル当局がこれまでに発表したすべての技術要件を網羅しています。

**認定要件** - すべての関係者で防犯システムの運用性を検証する6カ月間の「モニタリング付き実施」トライアルが2009年8月にスタートしました。本書では、システムと事業者の認定について、認定機関や認定までの過程を詳しく説明します。また、アタック試験など、現時点で指摘されている認定プロセスの弱点についても紹介します。

**市場への影響** - 今回の装備義務化によって、テレマティクスシステム搭載車は確実に増加すると見られています。将来的には、同じ車載ハードウェアを使ったeCallやbCallなどの新たなテレマティクスサービスの展開が期待されています。問題は、どれだけユーザーが実際に盗難車両追跡システムサービスに加入し利用するか、にあります。本書では2010年から2013年の加入者数の予測値を掲載しています。さらに、車両盗難追跡システムの装備義務化によって市場へはどのような影響が出るのか、そのプラス影響とマイナス影響を考察します。

**将来の展望** - 各自動車メーカーやシステムメーカーでは現在、法案で装備が義務付けられているテレマティクスシステムとそれに搭載する基本的な追跡機能とイモビライザの実地検証に注力しています。この同じ車載テレマティクスシステムを活用して、今後どのようなサービスの展開が見込めるのか、本書では、新たなサービスの可能性について考察します。

# »» ...know what tomorrow brings

## 目次

### 1. 要旨

- 1.1 ブラジルの車両犯罪対策について
- 1.2 技術仕様
- 1.3 認定プロセス
- 1.4 今後の市場への影響
- 1.5 法律施行に向けての障害

### 2. はじめに

- 2.1 本書の対象範囲
- 2.2 ブラジルで追跡システム装備を義務化する理由
- 2.3 義務化を推進する機関

### 3. 進捗状況

- 3.1 技術要件および認定プロセス
- 3.2 サンパウロ連邦裁判所の判決
- 3.3 モニタリング付き実施期間
- 3.4 導入時期

### 4. 技術要件

- 4.1 車載ハードウェアの技術要件
- 4.2 無線プロトコル
- 4.3 サービスプロバイダの認定要件

### 5. 認定プロセス

- 5.1 車載ハードウェアの認定
- 5.2 サービスプロバイダおよびインフラプロバイダの認定
- 5.3 携帯電話通信事業者
- 5.4 認定機関

### 6. 市場への影響

- 6.1 車両追跡サービス市場の現状
- 6.2 OEM車両追跡サービス市場の成長予測
- 6.3 OEMシステムメーカー
- 6.4 サービスプロバイダおよびインフラプロバイダ
- 6.5 車両盗難

### 7. 今後の見通し

- 7.1 短期的見通し
- 7.2 中長期的見通し
- 7.3 障害

## 図表一覧

- 図 1 車両盗難率の市場別比較(2008年)
- 図 2 法定盗難防止システムの構成機能
- 図 3 ブラジルにおける盗難防止システム義務化による影響
- 図 4 ブラジルと西欧の車両盗難件数の推移
- 表 5 車両追跡システム装備義務化に関する文書
- 表 6 モニタリング付き実施期間の構成
- 表 7 法定盗難防止システムの工場装備スケジュール
- 図 8 ローカルイモビライザの技術要件
- 表 9 ブラジルにおける車両追跡システムの技術要件の分析結果
- 表 10 ACR245プロトコルの必須要件の概要
- 図 11 追跡サービスプロバイダ(自社インフラなし)の主要要件
- 図 12 法定盗難防止システムの最終認定機関
- 図 13 自動車メーカーおよびシステムメーカーの仮認定プロセス
- 図 14 自動車メーカーおよびシステムメーカーの最終認定プロセス
- 図 15 サービスプロバイダおよびインフラプロバイダの認定プロセス
- 図 16 ブラジルにおける携帯電話通信事業者のマーケットシェア(2009年中旬現在)
- 図 17 OEM車両追跡サービスの年間加入者数(推定)
- 表 18 法定OEM盗難防止システムのメーカーおよび提携先
- 図 19 ブラジルの盗難犯罪に対する法定盗難防止システムの効果

## SBD の取組み

SBDは、戦略的分析とデータを包括的に組み合わせ、お客様にご提供致します。当社の理念は専門知識を通じてお客様のビジネスの成長をお手伝いすることです。当社の目的は以下の通りです。

- お客様が開発すべき技術は何かを再確認していただくことによりビジネスの成長をサポートします
- お客様が計画と実施にかかる時間を短縮することによりコスト削減をサポートします

## ...本書の著者について



**ポール・パーリー： 車両防犯および車両所有コスト シニアスペシャリスト**

サリー大学電子工学科修士課程卒。アルプス電気でシステムエンジニアとして4年間スマートキーシステムの開発に携わった。自動車業界に身を置いた12年間には、特に車両通信と追跡装置を中心に、エンジン制御装置を手がけた。2005年からは欧州保険要件と盗難統計の首席研究員を務めている。

## ブラジルにおける盗難防止システムの装備義務化による影響 (参照番号:SBD/SEC/2208)

**本書のご購入形態** 下記は税抜価格です。

マルチユーザー (製本+PDF)

日本語翻訳付 ¥405,000

英語版 ¥355,000

シングルユーザー (製本のみ)

日本語翻訳付 ¥319,000

英語版 ¥269,000

2008年発行の をご購入いただきましたお客様につきましては、本書を特別割引価格にてご提供いたします。詳しくはお問い合わせください。

本書の詳細に関するお問い合わせは下記にて承ります。

**SBD ジャパン**

担当: 杉木 昭郎

Email: [asugiki@sbdjapan.co.jp](mailto:asugiki@sbdjapan.co.jp)

TEL: 052 253 6202

## 関連レポート



### 欧州における盗難車両追跡 (SVT) の展望 (SBD/SEC/2195)

本書は、SVTシステムの将来像を詳細に分析し、今後の各種テレマティクスサービスの導入によって変化する欧州市場において、アフターマーケット及びOEシステムへの脅威、そしてチャンスとは何かを解明します。

また、欧州全体の技術要件に関する最新情報及び今後の動向分析、Thatchamの影響力拡大についての情報も提供しています。



### eCallの今後の行方 (SBD/TEL/1820)

欧州の大手自動車メーカー数社が開発している新たな民間eCallサービスに注目が集まっています。本書では、欧州のeCall計画に対し、SBD独自の評価をまとめたものです。現状の調査を行なった上で、欧州委員会の進める公共サービスと、自動車メーカーの開発による民間サービス双方に尽きて、将来予測を行なっています。



### 利用連動型保険を OEテレマティクスにつなげる (SBD/TEL/1930)

本書では、PAYD (Pay-As-You-Drive) としてもよく知られる利用連動型保険スキームの開始に向けた世界各国での取り組みについて、解説します。これまでのプッシュ戦略での短期的目標を分析し、OEテレマティクスサービスとのリンクによる市場拡大の可能性について考察します。